

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

みやぎ地域型復興住宅

グループの名称

みやぎの幸せの家

直近採択グループ番号

06-0525-0081

(グループ代表者)

代表者名

曾根 輝雄

代表者印

代表者所属先

株式会社カネソ曾根建業

代表者所在地

宮城県仙台市泉区八乙女4丁目9-7

代表者電話番号

022-373-5571

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社吉田産業 仙台支店

事務局担当者名

佐藤 馨

印

事務局郵便番号

984-0015

事務局所在地

宮城県仙台市若林区卸町三丁目1-21

事務局電話番号

022-235-8111

事務局FAX

022-238-1354

事務局担当者E-mail

kaoru-sato@yoshidasangyo.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	みやぎ地域型復興住宅
2. グループの名称(必須)	みやぎの幸せの家
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0525-0081
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	宮城県全域
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	曾根 輝雄
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社カネソ曾根建業
8. グループ代表者所在地(必須)	宮城県仙台市泉区八乙女4丁目9-7
9. グループ代表者電話番号(必須)	022-373-5571
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社吉田産業 仙台支店
11. グループ事務局担当者名(必須)	佐藤 馨
12. グループ事務局郵便番号(必須)	984-0015
13. グループ事務局所在地(必須)	宮城県仙台市若林区御町三丁目1-21
14. グループ事務局電話番号(必須)	022-235-8111
15. グループ事務局FAX番号(必須)	022-238-1354
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	kaoru-sato@yoshidasangyo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	9	原木供給事業者が海外事業者であるため。
II. 製材・集成材製造・合板製造	11	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	6	
IV. プレカット	5	
V. 設計	1	
VI. 施工	8	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	杉	宮城県	優良みやぎ材認証制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		12	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		5	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)					戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)					戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟				
					0	m ²				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟				
					0	m ²				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)										
長寿命、高度省エネ型住宅促進の為、未経験工務店を優先し受注が確実な工務店を優先的に配分する。その上で残は抽選とし、配分枠に満たない場合は事務局から工務店に発信し調整する。										
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	採択戸数	11	戸	交付申請戸数	7	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)										
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸		
優良建築物型										
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸		
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) みやぎ地域型復興住宅	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) みやぎの幸せの家	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0525-0081	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
7. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	1.気候は、夏は酷暑が少なく冬の降雪量は東北の中では少ないので比較的過ごしやすい。特に仙台などの沿岸部は緯度の割には温暖である。気候区分は北部が太平洋側気候三陸型気候、南部が同関東型気候に属する。気候の特徴は東部が海洋性気候、西部が内陸性気候の特徴を示す。ただし、西部の豪雪地帯(大崎市旧鳴子町は特別豪雪地帯)は日本海気候に属する。等次世代省エネ基準としての地域は3・4地域として分けられている為、地域にあった断熱性能を高めた住宅を目指す。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	1.生活上で十分な断熱性を確保した設計及び施工を行う。 2.耐震性についても配慮し、住まれる方の要望(価格等も含む)にあった構造材、木材を使用して軸組強度を担保する。(国産材、地域材を積極的に使用しよう努力する)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	1.各構成員が①記載の基本性能の充足を前提とし、建設地の景観条例や街並みガイドライン等を参考に地域特性を考慮したデザインを提案する事とします。	○
④①～③の背景	1.地球環境対策(地球温暖化によるCO2削減貢献する) 2.住宅づくりの課題として、コストを抑えて耐震性、断熱性を上げた住宅作りを目指す。 3.地域を再興(国産材、地域材の採用による地域の活性)する。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	1.健康が増進できるように床、壁、天井に自然素材を積極的に採用する。	○
1. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構造材はすべて認定された集成材、KD材とし、基本は3寸5分柱以上とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構造材は出来るだけ規格品を採用しコストアップを避ける努力をする。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループにおいて物件情報、また共通の仕様や詳細図などを共有する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の普及、促進を継続し、未経験の施工構成員が本事業を活用できる様、グループ内の情報交換及び協業を強化していく。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: UA値計算書及び認定適合書の添付。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員により施工の差異をなくする為に、長期優良住宅・認定低炭素住宅の審査を出来る機関を統一出来る様に推進していく。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工構成員が事務局と事前に見積り、積算ルールの情報を共有し、仕組み化されていない施工構成員に情報提供し、標準化を進め商材の価格表の整備の再構築と積算・見積りの時間的労力の低減を目指す。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 過去の長期優良住宅の施工実績のある施工構成員から、採択住宅の施主様の協力のもと、暖房費や光熱費データ、体験談などを紹介する機会を設け普及に役立てる。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社の取組が一緒ではありませんので、隔週で週休2日制を導入するよう事務局から働きかけを行う。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 社会保険労務士からの保険加入の必要性、加入義務の説明会開催企画と、各社へ資料提供を実施する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社事務所、および現場での朝礼後のKY活動の実施とラジオ体操の推進を図る。定期健診の受診を行なう為に会社として健診費用の一部補助を実施する働きかけを行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	各施工構成員のホームページ・ソーシャルネットサービス等を利用した告知により構造・完成見学会を実施する。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) みやぎ地域型復興住宅	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県全域		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みやぎの幸せの家	(結成年) 2012 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0525-0081			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報を共通管理ソフトを活用し、管理内容を統一する。	○	
		①-2 情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関での住宅履歴サービスに登録し住宅履歴情報の蓄積の義務化を目指す。	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画を共通なものとする。	○	
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理保全計画によるメンテナンスの実施と報告の義務化(維持管理計画書の添付)	◎	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画を共通なものとする。	○	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設備業者を交え定期的な勉強会を実施する。	○	
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成現場見学会等で、一般来場者に簡単な木工教室などを開催する。	○	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画を共通ルール化出来るよう構成員同士が意見交換出来る場を事務局が企画する。	○		
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手自らメンテナンスブックを作成し、施主に提出出来る様に整備を進めていく。	○		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工構成員に保険業者より完成保証制度の説明会を開催し加入促進をする。	○	
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵担保責任保険法人を統一できるよう推進していく。	○	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		完成保証制度については、グループとして団体加入を検討する事とする。	○
	エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が未経験施工構成員対象に仕様説明会、設計、施工に関する勉強会の計画を実施する。	◎		
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険機関を統一して現場検査を一元化して品質を担保する。	◎		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険機関への瑕疵保険登録状況を事務局が管理する。	○		
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 性能、品質、安全向上を目的とする構成員対象の構造、完成見学検討会を開催し意識向上を図る	○		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅性能の向上が、長期優良住宅普及の最善策で技術・性能講習会へ積極的な参画を行う。	○		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ定例会の機会を利用して省施工・合理化出来る様、議論しアイデアを出し合っていく。	○		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 10	◎	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 7		○		
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が講習会の日程などの情報を発信し、技術の底上げを図る事とする。		○		
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会・構造、完成見学検討会のなかで、導入・検証出来る物は検証していく。	○		
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が情報収集し、実施可能な事に対し構成員への実証実験の働き掛けを実施していく。	○		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		グループ定例会時にはその時々テーマで技術的検討を重ねていく。	○	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) みやぎ地域型復興住宅	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県全域	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みやぎの幸せの家	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0525-0081		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄			
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	グループ指定の認証された木材を採用し、主要構造材には合法木材(国内・国外)を使用して、強度を担保する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	○
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	1. 地域材の流れについては過去2年のなかで、不具合等が無かったことから、変更点無しとし現状通り継続する事とします。 ※一部、施工グループの構成員においては、全て手刻みによる加工を行う為、地域材の供給の流れで、合板グループから直接購入を行う場合がある。また、一部流通グループを介さず、地域材の調達を行う場合がある。(一部プレカット加工を使用する場合)*合法木材の一部においては、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者の特定が困難な場合が多々ある。この為、製材・集製材・合板グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。設計に関しては施工業者が設計する場合、施工主が指定する場合等統一するのは困難の為、登録以外の設計業者携わる。 	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局、プレカットが中心となり設計・施工構成員へ情報発信していく。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 市況、市場動向を考慮しタイムリーな情報提供を発信していく(事務局・プレカット)	○
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 宮城県の地域材が少しでも使用できるようグループ'定例会等の場を活用し情報発信する	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 少しでも和を取り入れるような設計の段階で検討する。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当グループの施工構成員の主力は注文住宅の為、基本ルール以外は各社のオリジナリティを尊重しております。但し資源循環型の住宅設計、建設については意見の一致する点であることから、再生可能エネルギーの積極的な利用を提案していく住宅を目指しております。	○
カ. その他			
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄			
	東日本大震災の復興に資する取組	当グループの取組んでいることは、被災に遭われた方を中心に、幸せを取り戻せる住宅づくりをする。その住宅づくりの為に常に研究「性能、仕様、設計、コスト(インシャル・ランニング)」をしています。	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) みやぎ地域型復興住宅	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) みやぎの幸せの家	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0525-0081	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>地域的には3地域と4地域が含まれる為、それぞれの地域の設定をしていく事とします。</p> <p>認定低炭素・性能向上計画住宅ではUA値0.6以下。(3地域) 認定低炭素・性能向上計画住宅ではUA値0.7以下。(4地域)</p> <p>また、4地域では暖房期の日射取得と冷房期の日射遮蔽の両立が図れるよう、窓・ガラス性能、庇などの特性を理解し採用していく。</p> <p>ゼロエネルギー住宅では、UA値0.5以下とする。(3地域) ゼロエネルギー住宅では、UA値0.6以下とする。(4地域)</p> <p>一次消費エネルギーは認定低炭素・性能向上計画住宅では、標準より-10%以上とする。</p> <p>ゼロエネルギー住宅では太陽光発電設置前で、R0値 3地域は26%、4地域は27%とそれぞれ目標としていく。 また、BELS認証を取り入れ性能を担保する。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。